

2026年度SMBCグループライジング基金

公募寄付 要項

公募期間： 2026年8月10日（月） ～ 2026年9月30日（水）15:00

1. 公募にあたり

SMBCグループは、「社会的価値創造のフロントランナー」として、人々の幸せがあふれる社会の実現に貢献し、その社会を次世代へ受け渡していくことを目指しています。

SMBCグループでは、マテリアリティの一つである「輝く人々」のもと、誰もが希望をもって挑戦できる社会に向けて、有志の社員が毎月の給与から積み立てる募金制度「SMBCグループライジング基金」を運営しており、寄付先団体の一般公募を実施しています。※1

本年度は、マテリアリティ「輝く人々」の注力領域の中でも「貧困・格差」の解消に資する取組を公募対象とします。また、単年度の支援に加え、より大きな社会的インパクトの創出を目指し、中長期的な視点で事業や組織基盤の強化に取り組む団体に対しては、複数年度にわたる支援も実施します。

SMBCグループライジング基金からの寄付が、次世代における格差の解消や挑戦機会の提供、社会的自立の促進、貧困からの脱却の支援につながり、世代を超えて連鎖する社会課題の解決に向けた一助となることを期待しています。

皆さまからのご応募を心よりお待ちしております。

※1…2025年度には約2,400万円の寄付を行いました。

2. 公募の枠組

本基金は、市民の主体的な意志に基づく非営利の活動を支援するものです。とりわけ、寄付金を活かして既存事業の支援対象や支援内容をより効率的・効果的に広げ、社会的インパクトを最大化しうる取組を支援します。

(A)1年コースは、単年度で完結する取組や短期間で成果を生む事業を対象とします。(B)3年コースは、中長期だからこそ実現できる事業拡大や組織基盤の強化などを対象とし、より大きな社会的インパクトにつなげるための柔軟な資金を提供します。初年度のみを切り出して応募することは原則想定していません。

(A)1年コースと(B)3年コースは併願可能ですが、同一の内容で両コースに応募することはできず、**3年コースを優先的に採択**します。複数の取組がある場合は、各コースの趣旨に沿ったテーマ・計画をご準備ください。

また、(B)3年コースでは3年間という期間を活かし、SMBCグループによるプロボノ支援も予定しています。貧困・格差の解消に取り組むパートナーとして、セクターを越えた協働を推進いたします。

種別	(A)1年コース	(B)3年コース
対象となる事業	子どもとその家族が直面する貧困・格差の解消に取り組む事業を対象とします。 ※本公募において「子ども」は、18歳以下を想定しています。 ※海外で実施する事業も対象です。 ※営利事業の支援(起業・創業の支援や事業者の育成・経営支援、産業振興など)する取組は対象外です。	
1団体あたりの寄付金額	最大300万円(1年間)	最大1,000万円(3年間) ※1年あたりの予算額は最大500万円です。 ※取組内容に応じて寄付金を2年で全て費消しても結構です。最適な期間を設定ください。
採択予定団体数	4団体(予定)	1団体(予定)
期間	2027年4月から1年間	2027年4月から3年間 ※1年ごとに事業の中間報告を事務局と行います。見直しが必要な場合、双方合意の上で次年度の活動と予算を決定します。 ※寄付金を2年で全て費消した場合も寄付契約期間は3年間となります。報告義務等は3年目にも発生します。
対象となる取組	下記(1)(2)の両方を対象とします。 (1)支援対象の直接的な増加 支援対象者への資金提供やサービス拡大を効率的・効果的に行う取組 ※「3.対象となる取組のテーマ」①に該当 (2)事業・組織基盤強化 既存事業の支援対象や支援内容をより効率的・効果的に広げるための、事業・組織の課題解決や運営改善に関する取組 ※「3.対象となる取組のテーマ」②～⑥に該当	下記(2)のみ対象とします。 (2)事業・組織基盤強化 既存事業の支援対象や支援内容をより効率的・効果的に広げるための、事業・組織の課題解決や運営改善に関する取組 ※「3.対象となる取組のテーマ」②～⑥に該当

プロボノのサポート	なし	原則あり (タイミングや業務内容は、ニーズを踏まえて採択後協議)
対象となる団体	- 法人格を持つ民間非営利団体(特定非営利活動法人、財団法人、社団法人、社会福祉法人等) ※一般財団法人および一般社団法人は、非営利型のみを対象とします - 主たる事務所が日本国内にある団体 - 特定の資金・リソースの提供者等の意向に極端に左右されることがなく、市民の主体的な意志に基づいて活動が行われている団体 - 本要項にある各要件に同意いただける団体 以下の団体は対象外です。 - 株式会社・合同会社等の営利活動を目的とする団体 - 政治活動、宗教活動を目的とする団体 - 反社会的勢力と関わりのある団体 - 過去3年以内に、SMBCグループライジング基金として支援を受けた団体 - 団体の現役員・過去役員にNPO法第20条の役員欠格事由該当者がいる団体 - 現役員・過去役員または現職員に、当該団体の活動に関連して刑事責任・行政処分を受けた者がいる団体 - 団体として公的助成・補助の取消等を受けたことがある団体 等	
団体の規模・実績の目安	本基金は、団体の基幹となる事業基盤が確立し、一定の活動実績がある上で、次のステージへの成長・発展を目指す段階にある団体を助成対象と想定しています。 対象の目安は以下の通りです。 - 年間予算規模1,500万円以上2億円以下 ※前年度の予算規模が1,500万円未満の団体が申請する場合は、本年度の事業規模が1,500万円を上回ることを応募用紙内でご説明ください。 - 有給の常勤スタッフが3名以上在籍していること - 法人設立から3年以上経過していること	

3. 対象となる取組のテーマ

対象となる取組は、市民の主体的な意志に基づく非営利の活動です。詳しくは、次のテーマから必要なものを選択の上ご応募ください。

※ 3年コースは中長期の基盤強化を支援するという趣旨から、①は対象外です。

※ 複数の取組を組み合わせて実施する形でも構いません。また、実施例に該当しないものでも、趣旨に沿うものは認められます。ご不明な場合はご相談ください。

テーマ	実施例	1年 コース	3年 コース
①支援対象の直接的な増加	・支援対象者への資金提供やサービス拡大を効率的・効果的に行う取組に寄付金を充当	○	×
②支援活動の質向上	・新たなマニュアル・プログラムの開発 ・プログラムの評価と改善及び現場への実装 ・効果的な支援拡大のためのITシステムへの投資	○	○
③支援活動の普及・拡大	・より効率的・効果的に支援を届けるための新たな拠点の設置 ・他団体や行政とのノウハウ共有や協働の強化	○	○
④事業・組織基盤の強化	・外部の支援を受けての業務フローの整備 ・事業の拡大に伴う人材育成・マネジメント体制の強化 ・現場の生産性向上と必要な機材の導入	○	○
⑤連携構築・政策提言	・他機関との連携・ネットワーク強化 ・政府・行政や市民社会に働きかける調査や情報発信、提言活動	○	○
⑥新規事業の立上	・既存事業の経験を活かした新たな非営利事業の立上 ※既存の事業・サービスを新たな受益者に提供する場合も含まれます	○	○

＜対象にならない取組の例＞

- 従来から取り組んできた事業について、全く同じ内容を継続するだけの取組
- 機材の導入や物資の購入が主目的で、事業そのものの改善を伴わない取組
※上記の取組による事業改善の一環として機材や物資を購入する場合は対象となります。
- 事業者・起業家の育成や事業基盤強化を主眼とする取組（個人事業主の創業支援、商品開発・販路開拓・マーケティング支援など）
- 産業振興・地域振興を主眼とする取組（特定産業の立ち上げ、産地形成、生産性向上支援など）
※就労支援、若者のキャリア教育、子どもへの体験機会の提供など、子ども・若者・家族本人の自立や成長を主眼とする取組は対象に含みます。

4. 対象となる経費

応募事業に関連する費用全般

- 事業計画に照らして適切な範囲であれば、費目の制限はありません。事業を実施するために必要な費目をご提案ください。事業を実施するために必要な人件費や一般管理費も計上可能です。
※他の団体に寄付金や助成金として支払うことはできません。
- 他の助成金や補助金を活用する事業でも申請できます。ただし、同一の費用を重複して計上することはできません。

- 事業目的に沿った効率的・効果的な予算となっているかどうか審査対象となります。

5. 寄付先団体に求められる義務・条件

- 寄付金の適正な使用
- 団体の適切なガバナンス・コンプライアンス体制の整備
- 反社会的勢力の排除
- 活動進捗の報告や訪問、ヒアリング等への対応
- SMBCグループ社員に向けた事業の現状報告等の情報発信(年1～2回程度)
- 期間終了後の成果報告書の提出
- SMBCグループ社員の意識啓発等への協力(講演・ボランティア活動受入れ等)
- 中間報告(3年コースのみ)

※(B)3年コースでは、1年ごとに事業の中間報告を事務局と行います。見直しが必要な場合、双方合意の上で次年度の活動と予算を決定します。

6. 選考方法・スケジュール

- 公募開始:2026年8月10日(月)
- 公募締切:2026年9月30日(水)15時
- 一次選考(書類審査)結果通知: 2026年11月上旬
- 二次審査(オンライン面談): 2026年11月下旬
- 二次選考(社員投票・審査会): 2026年12月上旬～2027年1月中旬
- 結果通知:2027年2月上旬予定
- 寄付金支払:2027年3月上旬予定

※(B)3年コースは初年度分のみ。次年度以降は中間報告の後、1年ごとにお支払いいたします。

※ 選考は原則書面及びオンラインで実施します。

※ 採択の可否に関わらず、選考結果は応募者全員にお知らせします。

※ 選考の経緯・決定理由は、採択の可否に関わらずお問合せには応じかねますので、予めご了承ください。

※ 最終的な寄付金額及び用途については、応募時に提出された書類や審査会での指摘を踏まえ、協議の上で決定させて頂く場合がございます。

7. 選考の流れ・応募団体にご準備頂く物

【一次選考(書類審査)】

一次選考では、以下6項目の書類をご用意頂きます。所定の応募フォームから団体の基礎情報や連絡先を入力後、応募書類をアップロードしてご提出ください。「8. 選考基準」に基づいて、審査を行います。

1. 応募用紙(事業計画書)

団体の概要や実績、事業内容、実行体制について、所定の書式に記入して提出ください。

1年コースと3年コースで応募用紙は異なりますのでご注意ください。

記入にあたっては【[応募の手引き](#)】をご確認ください。

[応募用紙\(1年コース\)](#)

[応募用紙\(3年コース\)](#)

※ 選考基準を踏まえ、内容に盛り込んでください。

※ 適宜、図表や写真も挿入頂いて結構です。

※ 指定のページ数で納めてください。

2. 予算計画書

事業の予算計画について、所定の書式に記入して提出ください。

1年コースと3年コースで応募用紙は異なりますのでご注意ください。

[予算計画書\(1年コース\)](#)

[予算計画書\(3年コース\)](#)

3. 団体の過去2事業年度の財務報告書

PDFで提出してください。(10ファイルまで可)

4. 団体の今事業年度の収支予算書

PDFで提出してください。

5. 定款

PDFで提出してください。

6. 役員名簿

PDFで提出してください。

※フォーマット自由。役職・氏名・生年月日・住所、また代表者に関しては兼務先を記載してください。

※ 所定の書類以外は、ご提出いただいても審査の対象外となります。

※ 応募内容に不備がある、必要な情報を期日までにご提出いただけない等の場合は応募を無効とする場合がございます。

※ ご送付いただいた資料は返却できません。予めご了承ください。

【二次選考(面談審査・社員投票)】

二次選考では面談でのプレゼンテーションと質疑応答、及び社員による投票を行います。詳細については一次選考通過後にご連絡いたします。

8. 選考基準

以下の基準に基づいて選考を行います。応募用紙作成の参考にしてください。

1.課題分析の適切性	事業の対象とする受益者が抱える貧困・格差の課題やニーズについて、各種調査や活動実績を反映させ、できる限り定量的かつ構造的に捉えた上での記載となっているか。
2.期待されるインパクトの大きさ	本寄付金を活用して取り組む活動のアウトプット、そのアウトカム、そしてどの程度のインパクトにつながりうるか。また、取組を経て、団体・事業の持続・発展が期待できるか。
3.活動内容の有効性	本寄付金を活用して取り組む活動の内容が、設定した課題の解決や成果目標の達成に対して有効な内容か。 また、より効率的・効果的に支援対象や支援内容を広げるための工夫がなされているか。
4.計画の妥当性と効率性	活動計画が具体的で妥当かつ効率的なものになっているか。特に、寄付金を含む予算の活用方法について、より効率的・効果的に支援対象や支援内容を広げるための工夫がなされているか。
5.実行体制の有効性	計画の実行チーム（リーダーとメンバー）が、活動計画を実行するために必要かつ有効な組織力や外部ネットワークを有しているか。また、目標を達成するためのリーダーシップを期待できるか。
6.団体の実績と信頼性	本寄付に応募する活動も含め、これまでに本寄付の要件や趣旨に合致した活動の実績があるか。また、寄付金の適切な活用に必要な、安定した団体の経営状況およびガバナンスの体制等を備えているか
7.基金の趣旨との合致	申請事業が「貧困・格差の解消」というテーマに的確に資しているか。また、その内容や団体の事業・発展段階が本基金の趣旨と合致しており、寄付金を最大限に活かす準備が整っているか。

9. 応募受付期間・応募手続き

【応募受付期間】

応募受付期間は以下の通りです。

2026年8月10日（月）～2026年9月30日（水）15:00まで

【応募書類を提出するまでの流れ】

STEP1. Googleアカウントの取得
STEP2. 応募書類の作成
STEP3. 提出

応募手続きにはGoogleフォームを利用します。所定の応募フォームから団体の基礎情報や連絡先をご入力頂いた後、応募書類6項目をアップロードしてご提出ください。

※ 応募は1団体につき、各コース1件までとなります。複数の応募はできません。

※ 複数コースの併願は可能です。

例：(A)1年コースと(B)3年コース、(A)1年コースと推薦枠

但し、同一の内容で両コースに応募することはできず、3年コースを優先的に採択します。複数の取組がある場合は、各コースの趣旨に沿ったテーマ・計画をご準備ください。また3年コースにおいて採択団体の該当がない場合、1年コースの採択団体を追加する等全体の調整を行います。

STEP1. Googleアカウントの取得

応募にはGoogleアカウントが必要です。既に取得済み、使用中のアカウントをお持ちの団体は、新規アカウント取得は必要ありません。お持ちのアカウントをご使用ください。

STEP2. 応募書類の作成

Googleフォームを使用した応募手続きでは、フォーム入力中に一時保存ができません。入力前に応募下書き用ファイルを使って基礎情報や連絡先をご準備されることを推奨いたします。

- 応募フォームへの記載内容は下記Excelファイル「応募フォーム(下書き用)」にて項目を事前にご確認いただけます。必要に応じて、「応募フォーム(下書き用)」もご活用ください。

※「応募フォーム(下書き用)」に予め記載いただくことで、コピー＆ペーストでフォーム入力を完了することができます。

[応募フォーム下書きファイル\(Excel\)をダウンロード](#)

- アップロードする応募書類は次の6項目です。詳細は「7. 選考の流れ・応募団体にご準備頂く物」の「一次選考(書類審査)」をご確認ください。

1. 応募用紙(1年コースまたは3年コース)
2. 予算計画書(1年コースまたは3年コース)
3. 団体の過去2事業年度の財務報告書
4. 団体の今事業年度の収支予算書
5. 定款
6. 役員名簿

※提出ファイル名は、それぞれ「**団体名_書類名**」としてください。

例) 一般社団法人XXXX_応募用紙.pdf

一般社団法人XXXX_収支報告書(20XX年度).pdf

STEP3. 提出

応募書類の提出は下記の応募フォームから行います。

応募後の訂正操作及び内容変更はできません。

[応募フォーム\(1年コース\)](#)

[応募フォーム\(3年コース\)](#)

10. 寄付期間開始後について

- 事業計画と予算計画は、事務局との合意の上でいつでも見直しが可能です。必ず事前にご相談ください。
※ 自然災害の発生や事業前提の変化等緊急性の高い場合は、事務局から修正をご提案する場合がございます。
- (B)3年コースの採択団体は、1年ごとに事業の中間報告を事務局と行います。見直が必要な場合、双方合意の上で次年度の活動と予算を決定します。
- (B)3年コースの採択団体と、プロボノ等の連携実施に向けた打合せを実施します。詳細は採択後にご連絡します。

11. お問い合わせ先

SMBCグループライジング基金事務局

info_rising@smbcrising.etic.or.jp

(運営協力:NPO法人ETIC.)

※お問い合わせへの対応は、NPO法人ETIC.が行います。お問い合わせの際は、団体名、担当者名、担当者の電話番号を必ず記載ください。ご回答には数日いただく場合があるため、時間に余裕をもってお問い合わせください。

12. 個人情報の取扱いについて

(株)三井住友フィナンシャルグループが定めるプライバシーポリシーに準拠した対応を行います。

<https://www.smfg.co.jp/privacy/>

以上